

# 学校だより

横浜市立十日市場小学校  
令和6年4月19日(金)  
緑区十日市場町1392番地-1

横浜市情報ネットワーク(YYネット)上に本校のホームページがあります。

URL: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tookaichiba/>

電話: 981-0420

FAX: 983-1694

## なりたい・だいじょうぶ・にこにこ

校長 熊谷 潤平

新年度が始まり、まだ10日ほどしか経っていないのですが、たくさんのすてきな贈り物を貰いました。笑顔と言葉の贈り物です。

「あ、校長先生だ。」「えんちょうせんせい!」「こうちょうせんせい、だよ。」「校長先生こんにちは。」「校長先生も一緒に遊ばないの?」——書き言葉にすれば、何気ない日常の挨拶・会話ではあるのですが、十日市場小の子どもたちは、その数が抜きん出ています。校舎内や校庭を巡回していると、とりわけたくさんの子が人懐っこく声を掛けてくれます。

先日は、低学年の児童から、「校長先生、新しい学校はどうですか。」とにこにこしながら尋ねられました。私は驚き、そして感心しました。低学年で、こんな気遣いある質問ができるとは。あんまり立派な気遣い・言葉遣いだったので、慌ててしまいましたが、「みんながさ、いっぱいにこにこしててね、挨拶してくれるから、うれしくて元気がもりもり湧いてきちゃうよ。」と、正直な感想を伝えました。うれしそうにその子は教室に戻っていきました。

今日の休み時間は、校庭を歩いていたら、どこからともなくたくさんの、「コーチャーセンサー!」と呼ぶ大きな声。どうやら大きな声の発信元は、校舎4階にある6年生の教室のようです。思春期・反抗期真っ只中のはずの最高学年の子たちが、無邪気に手を振っています。

ありがたいことに、保護者の方からもすてきな笑顔と言葉を頂きました。朝、門に立っていたら、1年生の保護者の方から、「うちの娘、入学式の校長先生の話聞いてないかと思ったら、ちゃんと先生が言った『三つ』、覚えてましたよ。家に帰ってから言っていました!」と教えていただきました。と言いますのも、式で私は、本校シンボルキャラクター「トックル」の「大好き」を三つ話したのです。三つとは、「なりたい」「だいじょうぶ」「にこにこ」です。そして最後にこれら三つが実現できるよう、「おまじない」として、「ダンブルドア校長から借りた魔法の杖」を振りました。この十日市場小にとって大事な「三つ」は、本校の学校教育目標そのものでもあるので、「1年生を迎える会」でも全校児童に向けて話しました。

今、私自身がたくさんの人の言葉と笑顔から元気を貰っているのと同様、私も言葉を紡ぐときは、相手が1年生であっても、誰であっても、心に届く言葉と元気な笑顔の発信者でありたいと思います。果たして、「なりたい」「だいじょうぶ」「にこにこ」の話がどれだけ全校児童の心に残ったのか。少しでも届いていてくれたらうれしいです。

4月は、全国(6年のみ)や横浜市(2~6年)の学力・学習状況調査があります。数か月後に、学力はもとより、学校生活や家庭生活(のある側面)についての分析結果が出ます。正答率が高い/低い、全国や横浜市の平均に比して上である/下である、と捉えるだけでなく、学力も、体力も、心も、生活習慣も、「今、自分はこんな状況である。だから、今後、自分なりに努力してこうなりたい。」「難しいし、時間もかかるかもしれないけれど、きつとなれる。大丈夫。」そう笑顔で思える、語れる、十日市場小の子どもたちであってほしいと願います。そしていずれは、「こんな人になりたい。」「人生苦しいこともあるけれど、きつとなんとかなる。いいことがある。」と笑顔で明るく思える大人に成長して行ってほしい。

この素直さ、無邪気さ、明るさ…豊かな個性をもった十日市場小の子どもたちなら、そんな大人になれそうだな…。なんだかそう思えて仕方がないのは、根拠のない楽観でしょうか?いえ、きつと大丈夫。きつとなれる。

そう信じ、確かな学力と、豊かな心と、健やかな体を育てるべく、まずは明日の授業を工夫・改善していきたいと思うところです。

